

平成29年度

まちづくり懇談会実施結果報告書

(御幸ヶ原地区)

宇都宮市総合政策部広報広聴課

**平成29年度 第10回
まちづくり懇談会《御幸ヶ原地区》実施結果報告書**

この実施結果報告書は、まちづくり懇談会《御幸ヶ原地区》における発言の要旨をまとめたものです。

- 1 開催日時 平成30年2月22日（木）午後7時～午後8時30分
- 2 開催場所 御幸ヶ原町公民館
- 3 参加者数 55人（市出席者除く）
- 4 市出席者 市長，総合政策部長，広報官，地域まちづくり担当副参事，東市民活動センター所長，道路建設課長，広報広聴課長

5 懇談内容

（1）地域代表あいさつ

御幸ヶ原地区連合自治会，御幸ヶ原まちづくり協議会 会長

（2）市長あいさつ

（3）地域代表意見

No.	テ ー マ	所 管 課
1	国立病院機構宇都宮病院の敷地内の有効利用について	保健所総務課
2	少子高齢化について	子ども未来課 男女共同参画課 高齢福祉課 公園管理課

（4）自由討議

No.	要 望	所 管 課
1	御幸ヶ原地区内の公共交通の確保について	交通政策課
2	防犯パトロールカーについて	みんなでまちづくり課 生活安心課
3	消火栓位置表示板の設置について	警防課
4	御幸ヶ原町の管轄について	みんなでまちづくり課 自治振興課
5	下水道の整備について	下水道建設課

6	ジャパンカップクリテリウムについて	都市魅力創造課
7	ブレックスアリーナの駐車場について	都市魅力創造課 スポーツ振興課
8	雨水問題について	下水道建設課 道路保全課

(5) 来賓あいさつ

地区居住市議会議員 舟本 肇氏

(6) 市長謝辞

■地域代表意見 1 (要旨)

テーマ	国立病院機構宇都宮病院の敷地内の有効利用について
-----	--------------------------

国立病院機構宇都宮病院では、まちづくりの一環として病院敷地内を活用し、宇都宮市及び地域のコミュニティに積極的に貢献したいという「うつのみや共生の森」構想があることから以下の提案をする。

既に敷地内の森には林間遊歩道があり、院内の入院患者や地域住民のウォーキングコースとして活用されている。病院周辺を地域のコミュニティの活性化に役立つように敷地内の遊歩道を更に延長し、そこに一定の間隔をあけて機能訓練の体育器具の設置を要望する。

病院周辺の住民が林間遊歩道を活用し歩くだけでなく、高齢者に陥りがちな筋肉の衰えの予防をするためにも体育器具を活用し、健康寿命を延ばすことによって医療費の軽減につながるものと考えている。

市として国立病院機構宇都宮病院の宇都宮共生の森構想へ協力や支援に関して考えを聞かせてほしい。

回答	所管課：保健所総務課
----	------------

【市長】

御幸ヶ原地区においては、日頃より地域づくりに熱心に取り組まれており、特に健康づくりに関しては、11月の地域まつりにおける体力測定の実施や1日350グラムの野菜摂取運動コーナーの開設、また、育成会による歩け歩け大会の開催など地域を挙げて取り組んでいると伺っており、大変素晴らしいことと感じている。

国立病院機構宇都宮病院は、日頃から地域貢献に熱心に取り組むなど、多くの市民の皆様へ安全・安心な医療を提供する重要な拠点病院である。

「うつのみや共生の森」構想については、国立病院機構宇都宮病院が地域貢献の一環として、病院敷地を開放し、地域のまちづくりや健康づくりなどに有効活用してもらおう構想と伺っており、構想の具体的な内容について、病院から改めて説明を受けたいと考えている。

また、宇都宮市では健康寿命の延伸を図るため、身近な公園で地域の皆様が気軽に健康づくりができるよう、既存の遊具だけではなく、更新時期に合わせて、地域の皆様の意見を踏まえながら、高齢者向け健康遊具の設置も行っているため、利用していただきたい。

■地域代表意見 2 (要旨)

テーマ	少子高齢化について
-----	-----------

当地域において、子どもの激減や高齢化は、将来のあらゆる面で不安を感じる状況

である。当然ながら国や県においても諸対策を講じている事と思うが、宇都宮市として現在どのような諸対策を行っているのか伺うとともに、諸対策の中で、地域が協力できることが何かあれば教えてほしい。

また、避けては通れない超高齢化ではあるが、環境整備により、健康寿命を延ばすことでひいては福祉費・医療費の節減につながることを思う。

健康寿命を延ばすためには、毎日歩くこと、身体を動かすことが大切だといわれている。そこで、身近にある公園を利用して体力の向上につなげることはできないかと考える。

地域内には、比較的大きな公園として、上野町2号児童公園、御幸ヶ原4号児童公園、御幸ヶ原5号児童公園がある。児童公園ということもあって、児童を対象とした遊具などはあるが、そこに新たに健康を向上させるような器具等の設置を要望する。

回 答	所管課：子ども未来課，男女共同参画課，高齢福祉課，公園管理課
------------	---------------------------------------

【市長】

宇都宮市における少子化対策については、若い世代が、結婚や家族を持つことに希望を持ち、その希望をかなえることができるよう、映画館等でのCM放映による家族観・結婚観の醸成や、若者を対象にボランティアを通じた交流・コミュニケーション事業等を実施し、出会いの場の創出を図っている。また、栃木県と連携して結婚支援センターを大通りに設置し、平成29年11月末時点で宇都宮だけで599名が登録していただきました。

結婚をして子育てと仕事の両立を支援するため、保育園等の整備に取り組み、平成27年度から29年度末にかけて、定員を約1,000人増やし、約9,500人の定員を確保するなど、待機児童のゼロを達成した。

地域に協力いただきたいこととしては、御幸ヶ原地区の皆様には、地区青少年育成協議会などにおいて、地域の子ども達を対象に、サイクリング大会や親子餅つき大会などのイベントを実施するほか、青少年の育成や見守りに資する活動を行っていただいていることから、引き続き、このような取組にご尽力いただくようお願いしたい。

次に、高齢者施策について、本市では、高齢者一人ひとりが健康で生きがいのある生活を送れるよう、積極的な外出、健康づくり、仲間づくりなど、自らできる取組を支援している。

例えば、70歳以上の高齢者へのバスカード交付による「高齢者外出支援事業」、歩くことや健診の受診など健康活動でポイントがたまる「健康ポイント事業」など、高齢者が健康寿命の延伸に向け、ご自身で活動しやすい施策を進めている。

また、高齢者の暮らしを継続的、安定的に支えるため、住み慣れた地域で在宅医療と介護サービスを一体的に提供するなど、「地域包括ケアシステム」の構築を進めており、地域主体の支え合い活動をより活発なものにしていくため、地域の介護、福祉、健康などに関する課題を発掘し、解決策を話し合う「協議体」を、地区連合自治会単位で設置促進している。

健康遊具の設置については、全市的に多くの要望をいただいているので、市内の公園全体の中で利用状況等を踏まえ、順次、計画的に進めている。

このような中、先日、御幸ヶ原10号児童公園について、地域からいただいたご意見に合わせて健康遊具3基の設置工事を行ったところである。

上野2号・御幸ヶ原4号・5号児童公園への健康遊具の設置については、御幸ヶ原10号児童公園と同様に遊具の劣化状態を見極め、地域の皆様のご意見伺いながら更新していくので、その際にご協力いただきたい。

■自由討議（要旨）

発言 1 御幸ヶ原地区内の公共交通の確保について

全国的に少子・超高齢化、人口減少社会の到来が叫ばれている中、宇都宮市においても、そして御幸ヶ原地区においても、現実的に直面する状況となっている。

このように、社会情勢が大きく変化している中、通院や買い物などの日常生活については、今までと同じく自動車に頼らざるを得ない生活環境となっているが、高齢者による交通事故の増加などの社会問題も発生しており、免許返納を促す動きもあることから、公共交通が利用できる充実したまちづくりが必要であると考えている。

御幸ヶ原地区においては、市の中心部と岡本駅などを結ぶバス路線が1時間に1本程度走っており、中心部などへアクセスできる環境は整っているが、日常的に利用する地区内のスーパーや病院などへの移動については、現在のバス路線だけでは十分と言える状況ではなく、また、道路が狭く、バスを運行するのが難しい地域もあるのが現状である。

そのような中、御幸ヶ原地区に隣接する河内地区など、宇都宮市の郊外部においては、地域に密着した「地域内交通」という公共交通が運行しており、特に、高齢者の通院や買い物などで多く利用され、実際に利用している人からは生活に役立っているとの声を聴いている。

そこで、御幸ヶ原地区においても、高齢者をはじめ、地区住民にとって、スーパーや病院などへ移動できる身近な生活交通が必要であると考えられるが、そのような公共交通の確保策について、市長の考えを伺いたい。

回答 所管課：交通政策課

【市長】

本市では、郊外部において、バスを補完し、買い物や通院など、日常生活を支える最も身近な移動手段として地域内交通が運行している。調整区域が多い郊外部の地区においては地域内交通が利用されている。姿川地区の地域内交通の試験運転が始まり、これで郊外部13地区全てが完了となる。

運行については、運賃収入のほか、自治会から1世帯あたり年間300円の支援金

や、利用登録が必要な場合は利用する世帯からの登録料、また、商業施設などからは協賛金を募るなど、地域全体で運行を支えていただいております、運行経費の不足する部分を行政が支援している。

このように、地域全体で支えるという理念のもと、郊外部において地域内交通の導入が進む中、市街地においても、高齢化の進行に伴い、通院や買い物など日常生活の移動手段のニーズが高まってきていることから、地域の状況に応じて、乗合タクシーなどを活用した、生活交通の確保策を地域が主体的に検討できるよう、「市街地における生活交通確保ガイドライン」を平成28年1月に策定し、同年3月に地区の代表者に対してガイドラインの説明会を開催したところである。

他地区においては、このガイドラインに基づき、勉強会の開催や地域住民の移動実態把握のためのアンケート調査を実施するなど、現在、生活交通の確保に向けた検討を進めているところもあり、宇都宮市としてもこのような地域の取組を積極的に支援しているところである。

ぜひ、御幸ヶ原地区の皆様にも考えていただけるようお願いしたい。

発言 2 防犯パトロールカーについて

市内各地において、青色回転灯パトロールカーが防犯等に活動をしている。御幸ヶ原地区においても、防犯の意識高揚に寄与できると考え、青色回転灯を付けた防犯パトロールカーを導入できないか考えている。

それらに関わる維持費の補助が可能かどうか伺う。

回答 所管課： みんなでまちづくり課、生活安心課

【市長】

宇都宮市では、防犯パトロールカーの車の取得に関する補助制度はないが、防犯パトロールカーに設置する青色回転灯の購入や、ガソリン代などについては、市からまちづくり協議会に交付している「協働の地域づくり支援事業補助金」があります。地域防犯活動の一環として、そちらを活用していただきたい。

地域の安全安心に大きく役立つパトロール活動でありますので、地区の中では2台目が動いてるところもございますので、ぜひ地域で話し合ってもらえればと思う。

発言 3 消火栓位置表示板の設置について

現在、地区内の消火栓のほとんどは道路に埋設されている。車を運転しているとわかりにくく、夜はほとんど見えないため、消火栓の上に路上駐車をしてしまうこともある。

今後の問題として、消火栓の脇の塀などに表示板をつけてもらえると、誰が見ても分かるようになると思うので、ぜひ設置をお願いしたい。

回 答	所管課：警防課
------------	----------------

【市長】

消火栓は道路などに埋設されているため、位置がわかりづらい場所もあると思うが、消防局は把握しているので、具体的な場所を教えてもらい確認をした上で、設置が可能かどうか検討していきたい。

発 言 4	御幸ヶ原町の管轄について
--------------	---------------------

この連合自治会というのは、御幸ヶ原町と上野町8自治会で構成されている。連合自治会が出来て42年が経っている。

市のホームページの統計データとか住民台帳といったものの中には、御幸ヶ原町というのは豊郷地区の1町として表記統計されている。

そうなった経緯というのは歴史を紐解かなければわからないと思うが、万が一、災害が起きたときに、中心部管轄なのか豊郷地区管内なのか、その分け方によって、救援物資というのがどのくらい届くのか大変心配である。

みんなでまちづくり課の連合自治会上の区分では中心部管内、町名区分では豊郷地区管内というように、分け方が部署によって変わるはおかしいのではないかと思う。是非この際に直してほしい。

回 答	所管課：みんなでまちづくり課，自治振興課
------------	-----------------------------

【市長】

災害などもしものことがあった場合、説明がつかないということでは、取り返しのつかないことになるので、時間をもらって調べる。

おそらく、合併前の村時代の経緯など、様々なことが関係していると思うが、現状になっているのには、理由があるはずなので、調べて連絡をする。

発 言 5	下水道の整備について
--------------	-------------------

御幸ヶ原南自治会内で2軒、下水道が通っていないところがある。私道の所有者が判子を押してくれないために、20年近く下水道が通っていない。

下水道建設課にも話をしているが、どうしても私道所有者が判子を押してくれないので、市でなんとかしてほしい。

回 答	所管課：下水道建設課
------------	-------------------

【市長】

私道，民有地に下水道を通す場合は，所有者に承諾が取れないと工事をする事ができない。

今までも相当な件数を解決してきたが，所有者に承諾してもらえなければ，市も立ち入ることができないので，そちらをクリアしてほしい。所有者の承諾が取れ次第，下水道接続の工事を進めさせてもらう。

発 言 6	ジャパンカップクリテリウムについて
--------------	--------------------------

ジャパンカップクリテリウムの開催については，相当な経済効果があったはずである。

今後も続けてほしい。

回 答	所管課：都市魅力創造課
------------	--------------------

【市長】

高い経済効果が出ており，引き続き開催していきたい。

発 言 7	ブレックスアリーナの駐車場について
--------------	--------------------------

ブレックスアリーナにブレックスの試合を見に行くが，駐車場が少ない。会員は，市体育館の駐車場を利用できるが，会員でない人は遠くに駐車をして歩いて行く。

ブレックスアリーナの隣にあるマロニエプラザの駐車場を，開催している時間帯だけでも解放できるように県と折衝してほしい。

回 答	所管課：都市魅力創造課，スポーツ振興課
------------	----------------------------

【市長】

ブレックスは日本有数の観客動員数を誇っており，ブレックスアリーナまで車を利用される方には，市場や今泉小学校などに臨時駐車場も用意しているが，歩くには距離があると認識している。

本日，このような御意見があったことをブレックスに伝えるとともに，ブレックスが栃木県にマロニエプラザを借りる際には，円滑に手続が進むよう協力していく。

発言 8 雨水問題について

現在、御幸ヶ原町公民館の前で雨水管の工事をやっているが、我々の住んでいる2区2班、3班は雨水問題で今でも困っている。

市でいろいろと対策してもらい解決してきたが、今でも若干問題があるので、早く対策してもらいたい。

今から12、3年前に、まわりの側溝の清掃を市にやってもらったが、できれば側溝の清掃もやってほしい。

回答 所管課：下水道建設課，道路保全課

【市長】

公民館の敷地を使っていることで、皆様方には大変ご迷惑をかけている。

平成28年度から工事を開始し、現在、454メートルのうち58%が完了したところである。平成30年度の工事完成後は、暫定的に雨水管を貯留施設として活用し、雨水問題の軽減を図っていく。

まだ完成までに時間を要するが、ご理解、ご協力いただきたいと思う。

また、側溝の清掃については、場所を伺って後日連絡をする。